

くらし安全通信

Vol. **58**
平成26年11月発行



ホームページ
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f707/>
ツイッター
https://twitter.com/kurashi_anzen



目次

- ★ 安全・安心まちづくり交流集会
- ★ 振り込め詐欺犯罪防止特別宣言
- ★ 飲酒運転根絶&自転車等交通事故防止
- ★ 犯罪被害者週間
- ★ 各種講座開催結果&開催案内
- ★ 神奈川県立上鶴間高等学校
- ★ 安全・安心まちづくり旬間特集



神奈川県 安全防災局安全防災部 くらし安全交通課 ☎ 045-210-1111(内線3554) FAX 045-210-8953

安全・安心まちづくり交流集会

～平成26年10月9日(木) ホテル横浜ガーデン～

基調講演



効果的な防犯活動は何が必要か

竹内忠雄氏（日本ガーディアン・エンジェルス）から、地域の方々に好感を持たれるパトロールの方法について、ハンドサインなどの実演を交えながら、楽しくお話いただきました。

分科会の様子

第1分科会 実践！防犯教室

くらし安全指導員による講話と実演後、3つのグループに分かれて、「振り込め詐欺」の寸劇を体験しました。



第2分科会 防犯カメラの設置を検討している方へ

防犯コンサルジュの中浜氏と富田氏（県防犯セキュリティ協会）から、防犯カメラの効果や設置時の注意点を学びました。



第3分科会 ある日突然家族が交通事故の被害に

飲酒ひき逃げ事故で家族を失った、祝部美佐子氏の実体験を基に、被害者を支える環境について考えました。



いわはらしばらくきんととき しばらくきんととき 岩原暫金時隊、暫金時

ななばんたい しばらくきんととき 七番隊、暫金時APC

自治会役員OBのお宅を一軒一軒訪問して、活動者の確保に尽力しています。



神奈川防犯シーガル隊

大学生中心に結成、自治体・商店街と連携したキャンペーンや地元FMラジオでの啓発などの活動を紹介しました。



当日の意見交換から

- 活動者が高齢化、若い世代に興味を持たれるためにどんな工夫が？
- Facebook、Twitter等SNSも利用、劇的な効果は望めないが、興味を持って参加してくる方もいます。
- 登下校時にスクランブル交差点をわたる児童・生徒の傍で、自転車の走行をやめさせるには？
- やめさせることはなかなか難しいが、笛を吹いたり、大きな声で制止するなど、繰り返し根気強く注意していくことが大切です。



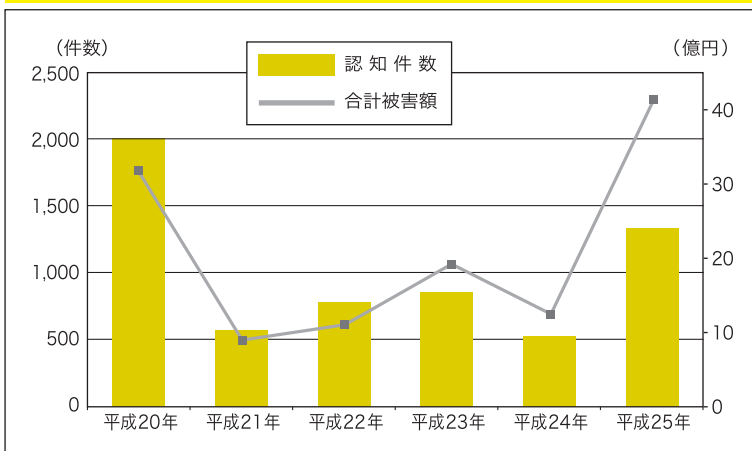
被害者のほとんどが高齢者 この卑劣な犯罪を撲滅するために

電話でお金を要求する息子はサギ？ ---- このキーワードが出たらサギ
息子や孫を偽って「カバンを忘れた」「妊娠させた」「会社の金を使い込んだ」
役所からと名乗って「医療費・保険料の還付」「本日が期限」「ATMで手続き」
家族の絆で防ぐサギ!! ----- 電話でお金を要求しないと、確認
ご両親や祖父母と話し合い、「電話でお金を要求することはない」と決めておく。

地域の力で防ぐサギ!!! --- 金融機関でこんな方を見かけたら、一声
「携帯電話で話しながらATMを操作」「金融機関で慌てて手続」する
高齢者を見かけたら声をかけ、職員や警察に**通報**

「振り込め詐欺犯罪防止特別宣言」より

いっこうに減らない 振り込め詐欺



非常事態！振り込め詐欺被害全国ワースト2位

県は10月21日に「振り込め詐欺犯罪防止特別宣言」を行い、県警察、市町村、関係機関・団体と連携し、県民の皆さんとともに「振り込め詐欺」防止に全力で取り組んでいます。

**年・末・年・始
犯罪 × 事故 = ゼロ**

ちょっとした注意や心がけが、あなたや家族を守ります。

冬休みで気持ちが緩む 子どもを狙う犯罪

一人遊びさせない、大人が見守る！

子どもが出かけるとき、**誰とどこへ何時に帰る**かを言う習慣をつけましょう。
子どもに声をかけている不審な人を見かけたら、子どものほうに「大丈夫？」と訊いてみましょう。夕暮れ時に子どもが遊んでいたら、早めの帰宅を促しましょう。

無事故で年末・笑顔で新年 飲酒運転根絶／自転車等交通事故防止

交通安全は家庭・学校・職場・地域から

年末年始は飲酒の機会が増えます。
飲酒運転は死亡事故にもつながり、家族や周りの人まで不幸にします。
飲酒運転はしない・させない・許さない
また、夕暮れ時は車も自転車も**早めにライト**を点灯し、交通ルールとマナーを守りましょう。

傷ついた心をささえる 僕らの手

(平成26年度犯罪被害者等に関する標語)

11月25日から12月1日は**犯罪被害者週間**です。



昨年のキャンペーンの様子

ある日突然、犯罪や事故に巻き込まれてしまうことは、誰にでも起こりえます。

犯罪被害者やそのご家族が、犯罪等により受けた被害から立ち直り、再び地域において平穏に過ごせるようになるためには、地域のすべての方々の理解と配慮、そしてそれに基づく協力が重要です。県では、犯罪被害者週間に合わせて、犯罪被害者等支援キャンペーンを実施します。詳しくは、ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f4181/p848565.html>



犯罪被害者等支援
シンボルマーク
「ギョっとちゃん」

問合せ：県くらし安全交通課犯罪被害者支援グループ

☎ 045-210-3571

開催しました!

新規防犯ボランティア講習会

防犯活動を行う際の基礎知識やポイント、県の支援施策等を受講後、4つのグループに分かれて、防犯パトロールを体験しました。



〔10月31日 鎌倉生涯学習センター〕

防犯指導者養成セミナー

宮田美恵子氏（日本こどもの安全教育総合研究所）から、子どもの安全と見守り活動について学びました。幅広い世代の方々が参加しました。〔9月30日 座間市役所〕



清永奈穂氏（ステップ総合研究所）から、街頭犯罪や子どもに関わる犯罪について学びました。また、柿岡守一氏（セキュリティ4A）が、空き巣の手口を実演しました。防犯意識の高い地域づくりの重要性を改めて認識しました。〔10月8日 ヴェルクよこすか〕



神奈川の交通安全

神奈川県交通安全シンボルマーク



犯罪者目線から考える防犯対策

今後
開催

日時：1月27日（火）13:30～
場所：東海道かわさき宿交流館
講師：東京未来大学子ども心理学部長
出口 保行氏

問合せ：県くらし安全交通課推進グループ

☎ 045-210-3520

神奈川県立 上鶴間高等学校



県立上鶴間高等学校は、ボランティア活動を通じた地域との連携を大切にしています。



自転車二人乗り禁止を実演

自転車マナー向上から防犯ボランティアへ

生徒の約95%が自転車で通学しているため、学校と地域との連携の第一歩を、自転車マナーの向上としました。

そこで、相模原市の「南区学生自転車会議」に参加し、キャンペーン活動を行ったところ、生徒自身の自転車マナーやトラブル防止意識も高くなりました。これがきっかけとなり、地域の防犯への関心も高くなり、生徒の有志による「振り込め詐欺」の防犯寸劇などのボランティア活動も行うようになりました。

歌やダンスで地域に貢献

学校創立35周年の平成24年に、歌やダンスで地域貢献するチームを生徒会が募集し、『フレア』がスタートしました。現在のチームは3代目、2年生4名によるユニットです。主な活動は、防犯ソングとダンスによる啓発！防犯ソング「いつもの街」と「だまされないで！」は、生徒が県警察の方からレクチャーを受けて、自分たちの言葉でわかりやすく伝えられるようにと作詞しました。華やかなダンスも取り入れ、多くの方に楽しんでいただきながら、印象に残るように工夫しています。



3代目『フレア』です

連絡先：神奈川県立上鶴間高等学校企画グループ(職員室) 川瀬 ☎ 042-743-3158

安全・安心まちづくり旬間特集



長年にわたり安全・安心まちづくりに尽力された1人と4団体、他のモデルとなるような活動を行なう5団体の皆様に、知事から賞状と記念品が贈呈されました。

〔10月9日 ホテル横浜ガーデン〕



表彰式に続く旬間出陣式では、県内各地の自主防犯活動団体へ安全・安心のシンボル幟旗が贈呈され、川崎市立南加瀬小学校かせっこパトロール隊長の大内由美子さんが決意を表明しました。〔同左〕